

第 1 章 計画に位置づける事業【抜粋】

1 事業内容

No. 1	西能美航路の合理化・効率化
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・近接する中町、高田、三高の3つの桟橋において、中町・高田～宇品航路（フェリー1隻、高速船2隻）と三高・大須～宇品航路（フェリー2隻）が運航 ・特に運航経費が高額なフェリーについては、収入源である車両輸送需要が2つの航路に分散している状況 ・中町・高田～宇品航路（フェリー、高速船）を運航する江田島市企業局には、一般会計より補填（平成19～20年度） ・三高・大須～宇品航路（フェリー）を運航する芸備商船㈱は、経営状況の悪化から、減便の意向
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・中町・高田～宇品のフェリー便を廃し、減った便数を高速船で代替 ・高速船特化により効率化された分の原資により、運賃の値下げ等を検討 ・大須については利用実態を踏まえた上で、合理化・効率化の検討を実施 ・本事業を第一ステップとし、将来的に望ましい航路運営のあり方についての話し合いを継続的に実施 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="384 1066 836 1585" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【現行】</p> <p>フェリー1隻</p> <p>高速船2隻</p> <p>フェリー2隻</p> </div> <div data-bbox="890 1066 1358 1585" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【実証運航案】</p> <p>フェリー2隻</p> <p>高速船3隻</p> <p>三高・大須～宇品航路は既存の運航を継続</p> <p>中町・高田～宇品航路は運航距離が長いので、フェリーを廃止し、高速船に特化（航路のサービス基準を満たすため高速船を3隻で運航）</p> </div> </div>
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・高速船特化による中町・高田～宇品航路の運航効率化、収益改善 ・車両輸送需要の集約に伴う、三高・大須～宇品航路の収益改善
課題・留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・他航路との調整 ・これまでフェリー便を利用していた利用者への配慮 ・検査時等における予備船の確保、市所有フェリーの活用法の検討
進め方・着手時期等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年10月から6ヶ月間の実証運航に向け、事業者等と調整
実施主体	江田島市（企業局）、交通事業者